

都筑区自立支援協議会

令和5年度

こども支援部会



たすく療育・横浜センター南 鹿島真知子

こども支援部会

部会設置の目的

障害児に関わる多分野の機関、事業所が集まり、情報共有や意見交換を行うことで、こども達が暮らしやすいより良い地域をつくる。



こども支援部会

令和5年度 幹事

こども応援ネット
トワーク

佐藤

横浜市北部地域
療育センター

尾形

フレンズジム
中川

中野

北綱島特別支援
学校

生出

都筑区役所
こども家庭支援課

長瀬・大津留

都筑区基幹
相談支援センター

吉濱・兼平
田中

たすく療育
横浜センター南

鹿島



こども支援部会

構成機関

参加機関：109機関

児童発達支援事業、放課後等デイサービス

支援学校・特別支援学校

地域ケアプラザ・主任児童委員

子育て支援拠点・相談機関・区役所等

子どもに関わる機関



こども支援部会

課題認識

どの子ども暮らしやすい
地域（まち）をつくりたい

強み：子どもに関わる様々な機関が
参加している

課題：本人や家族が困っていることが
多岐にわたる



これまでの取組

平成28年度

ライフステージを考える

平成29年度

地域とのつながりを作ろう

平成30年度

地域資源を作ろう！
～マップを作ってみよう～

令和元年度

子供達が暮らしやすい街を
どうはぐくむか

令和2年度

「コロナ×こども」アンケート
～これから私たちに
できること～

令和3年度

感染拡大！休校！分散登校！こどもたちの今
～それぞれの現状を知ろう そして今、
つながることのできること～

令和4年度

今私たちができること
～ライフステージ毎の事例を通して、
何ができるか、どこができるか皆で考えよう！～



こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい

R5年度の実施状況

部会
年2回

9/15 1/17

幹事会
年8回

5/9 6/27 7/21 9/1 11/22 12/8 1/12 2/6



令和5年度の取組① 全体会9/15

身近な相談者として
知っておきたいこと、
大事にしたいこと



こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい

令和5年度の取組① 全体会9/15

参加者：76名

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所・学校・地域ケアプラザ等こどもに関わる関係機関の方々



令和5年度の取組① 全体会9/15

①障害児の社会資源表・令和版

妊娠期から成人前までの社会資源：子ども家庭支援課 長瀬氏

②相談支援事業について

横浜の相談体制の仕組み・計画相談の制度

：相談支援部会長 五浦氏

③見発放デイの事例

身近な相談者としての事例：フレンズジム 中野氏



令和5年度 of 取組① 全体会9/15

- ④ グループワーク「身近な相談者として大切なこと」
「それぞれが考える、身近な相談者として大事なこと」「気づき、発見したことや感想等」を付箋に書き出し、意見交換を行った。



令和5年度の成果① 全体会9/15

- 身近な相談者の役割の確認ができた。
- ライフステージの変わり目での継続した支援の必要性を共有できた。
- 参加者一人ひとりが「身近な相談者」として考える機会となった。

こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい

令和5年度の取組② 全体会1/17

学校との連携 ～こどもたちを真ん中にした 地域のネットワーク作り～



こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい

令和5年度 of 取組② 全体会 1/17

参加者：73名

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所・学校・地域ケアプラザ等こどもに関わる関係機関の方々



こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい

令和5年度の取組② 全体会1/17

①SSWの機能と役割

北部学校教育事務所 SSW 松島博子氏

②県立支援学校のセンター的機能と役割

みどり支援学校 教育相談コーディネーター 田中心美氏

③療育センターの学校支援の機能と役割

横浜市北部地域療育センター センター長 齊藤共代氏



こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい 令和5年度の取組② 全体会1/17

④質問タイム

slidoを使用した参加者からの質問に、学校支援の機能を持つ3機関「SSW、支援学校、療育センター」がそれぞれの立場から回答をしてくださった。



令和5年度の成果② 全体会1/17

- 学校支援の機能を持つ3機関「SSW、支援学校、療育センター」のそれぞれの立場からの話を横並びで聞くことができた。
- 支援者の軸は誰か？ということを「ジブンゴト」として捉えるきっかけになった。



こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい 地域課題

●こどもたちの生活を支える面の荒さ

制度は充実して来ているが、それぞれが独立しており、こどもから見ると生活（横軸）、ライフステージ（縦軸）でのつながりが十分ではない。

●子育ての孤立感

地縁・血縁が少なく、地域自治会加入率も低い。プチ競争意識もあり、周りの人とのつながりを作りにくい地域。



部会の課題 こどもを軸に考える！

●顔の見える関係づくりから、連携へ

👉 たくさんの機関に参加してもらっているからこそ、各機関の意識の共有を図り、共通語をもって考える土壌づくり

●関係機関以外の人たちとの関係づくり

👉 地域で育つために地域の「誰と」「どのように」つながっていくのかを協議していく

●地域づくりに関する課題の共有にとどまらない、具体的な取組の検討

👉 こどもに関わる人々が自然に触れ合えるような場づくり



こども支援部会 どの子ども暮らしやすい地域（まち）をつくりたい

R6年度も・・・

「地域のこども」として、地域の中でその子らしく
育ち、家族が幸せに暮らすために・・・

たくさんの機関に参加してもらっていることを強
みに、それぞれのやれることを共有し、それぞれの
取組をつなげるきっかけ作り、種まきをしていく。

